

ハイパフォーマンス CPR コンテスト 実施要領

1 審査内容

バイスタンダー及び救急隊による CPR の質等を審査する。

2 チーム編成

1 チーム 5 名又は 6 名編成とし、構成は以下のとおりとする。

(1) 救急隊 3 名

救急救命士又は消防職員で構成すること。所属・階級は問わない。救命士数は自由とするが、薬剤認定救命士を必ず 1 名以上含むこと。

(2) バイスタンダー 2 名又は 3 名

消防職員以外で構成すること。医療資格の有無は問わない（学生大歓迎）。

※ チーム編成について、【救急隊 3 名】及び【バイスタンダー 2 名又は 3 名】

は、それぞれによる参加申請を可能とし、運営がチーム編成（救急隊 3 名とバイスタンダー 2 名又は 3 名）をマッチングする。なお、チーム編成及び出場順は 11 月中旬に発表する。

3 概要

(1) 想定

想定は当日発表する。

(2) 活動内容

原則として、救急隊は各地域のプロトコルに準じて活動すること。ただし、自動心マッサージ器の使用及び現場離脱タイミングについては、以下に記載のとおりとする。（下線部分参照）

ア バイスタンダー

- (ア) 傷病者接触後、模擬通報（119 番）を実施する。
- (イ) AED は使用しないものとする。
- (ウ) 救急隊到着後も、バイスタンダーによる胸骨圧迫の協力を可能とする。
- (エ) 人工呼吸は行わないこととする。

イ 救急隊

- (ア) 家族（役）への IC 取得を行うこととする。
- (イ) 静脈路確保及びアドレナリン投与の実施を必須とし、必ず現場で実施すること。ただし、静脈路確保（穿刺）、アドレナリン投与は模擬で行う。
- (ウ) 用手気道確保とし、高度気道確保は行わないこととする。
- (エ) 特定行為の指示要請を実施すること（模擬）。収容依頼は実施しないものとする。

- (オ) 自動心マッサージ器は使用しないこととする。
- (カ) 訓練終了まで現場離脱はしないこととする。
- (コ) 心肺蘇生は 30 回の胸骨圧迫と 2 回の人工呼吸を、原則として遵守すること。ただし、除細動直前の人工呼吸は省いても良いものとする。（除細動前の胸骨圧迫中断時間短縮のため）

(3) 統一事項

- ア 訓練時間は、バイスタンダー接触から 10 分間とする。
- イ 救急隊接触は、バイスタンダー接触から 3 分後とする。
- ウ 訓練人形はレサシアン QCPR (Laerdal Medical) とする。

4 審査方法及び表彰について

- (1) 採点は、レサシアン QCPR で算出される CPR 総合スコアから、別紙「採点表」に記載されている項目を評価し、採点する。
- (2) 得点と同じ場合は CCF が高いチームを優位とする。得点及び CCF のどちらも同じであれば、胸骨圧迫スコアが高いチームを優位とする。
- (2) 総合得点の高い上位 3 チームを表彰する。

5 使用資器材について

- (1) 除細動器 ZOLL X Series、TEC-2603
上記どちらかを任意に選択すること。
- (2) バッグ・バルブ・マスク アンブ蘇生バッグマークⅣ

※資器材は会場に準備するものを使用することとし、CPR リアルタイムフィードバック装置は使用しないものとする。

不明な点は下記までお問合せください。

ハイパフォーマンス CPR コンテスト実行委員

北村 慎吾

松原 弘隆

sea.to.summit.hp.cpr@gmail.com